

平成26年第5回小金井市教育委員会定例会議事日程

平成26年5月13日(火)

午後1時30分開会

開催日時	平成26年5月13日	開会 1時30分 閉会 2時40分	
場 所	小金井市役所第二庁舎 801会議室		
出席委員	委員 長 鮎川志津子 委員長職務 代理者 福元 弘和 委 員 渡邊 恭秀	委 員 岡村理栄子 教 育 長 山本 修司	
欠席委員			
説明のため出席した者の職氏名	学校教育部長 天野 建司 生涯学習部長 西田 剛 生涯学習課長 石原 弘一 庶務課長 関 次郎 学務課長 鈴木 剛 学務課長補佐 河田 京子 指導室長 河合 雅彦 指導室長補佐 高橋 良友	指導主事 平田 勇治 指導主事 丸山 智史 図書館長 上石 弘美 公民館長 前島 賢 庶務係長 中島 良浩	
調 製	中島 良浩		
傍聴者 人 数	5名		

日程	議 題	
第 1		会議録署名委員の指名
第 2	報 告 事 項	1 小金井市奨学資金の応募状況について 2 小金井市学校給食の指針を推進するための組織設置に向けた準備会について 3 平成27年度市立小学校使用教科用図書の採択について 4 小学校オーケストラ鑑賞教室について 5 中学校合唱鑑賞教室について 6 文化財センター企画展について 7 ウオーキングフェスタ東京について 8 小金井チャレンジデー2014について 9 貫井北センターの開設について 10 その他 11 今後の日程
第 3	代 処 第 1 1 号	職員の普通退職に関する代理処理について
第 4	代 処 第 1 2 号	職員の分限処分に関する代理処理について

鮎川委員長 皆様こんにちは。
ただいまから平成26年第5回小金井市教育委員会定例会を開会する。

日程第1、会議録署名委員の指名。本日の会議録署名委員は、渡邊委員と岡村委員に願います。

(委員一同異議なく、上記2名が選出された。)

鮎川委員長 次に、日程第2、報告事項を議題とする。順次担当から説明願う。
1、小金井市奨学資金の応募状況について、願います。

関庶務課長 それでは、小金井市奨学資金の応募状況について、口頭報告させていただきます。

応募状況だが、本年度は高校生及び高等専門学校生については、定員が35名のところ、36人の応募があった。ちなみに昨年は33人の応募であった。

大学生及び高等専門学校生については、定員は3名のところ、7人の応募があった。ちなみに昨年は10人の応募であった。

合計で43名の応募である。昨年も同じく43名であった。

この応募者の中から、奨学生の選出について、今年5月27日に開催する奨学資金運営委員会の中で決定させていただきます。

今年度の募集に当たっては市報4月1日号に掲載し、市ホームページでは4月1日から4月18日までの間、募集の告知をし、その他の方法として市立中学校卒業生保護者へのお知らせ配布、中学校へのポスター掲示により周知を図った。今年度は、さらに市内の国立、私立中学校及び市内の都立、私立高校にもポスター掲示の依頼をし、より周知の徹底を一定図ったところである。

奨学資金の応募状況の説明については以上である。

鮎川委員長 委員の皆様、何かご質問等はあるか。はい、願います。

福元委員長 奨学資金は、実際に該当する数と応募者の間に毎年差が出てくる
職務代理者 と思うが、この辺の検討の中で、基準が一番大事だと思うが、この

基準については検討すべきだと話題になっているような項目は、今のところ出ているのか。

関庶務課長 奨学資金の基準については、あくまでも条例上では、勉学の意欲があり、成績優秀で、かつ経済的困難というところで、いわば福祉的な政策とはまたちょっと違う意味がある。成績優秀をどうやってはかるかというところでは一定、ご議論があった。申し込んでいただく高校によって偏差値は差があるので、そこら辺はどうなのかというのもあったが、そういう議論はこの一、二年の奨学資金運営委員会の中で、どういった物差しで成績が優秀だとはかるんだという議論があった。偏差値等で差をつけようという話もあったが、やはりまずは本人の勉学意欲が大事だということで皆さんの結論を得たところである。

以上である。

福元委員長
職務代理者 わかった。

鮎川委員長 ほかにご質問等あるか。
では、続いて2番、小金井市学校給食の指針を推進するための組織設置に向けた準備会について、お願いします。

鈴木学務課長 それでは、学校教育部学務課から口頭報告させていただく。
昨日の厚生文教委員会において行った行政報告と同じ内容である。小金井市学校給食の指針を推進するための組織設置に向けた準備会についてである。

小金井市学校給食の指針を推進し、学校給食を見守り、支援するため、(仮称)小金井おいしい給食委員会を設置する予定である。このたび、委員会設置のための準備会委員を募集するものである。準備会は、組織設置に向けた準備、意見交換及び検討を行うこととし、公募市民3人以内、保護者2人以内、学校関係者として学校長、栄養教諭または栄養士、調理員、そして学校給食調理業務受託業者の9名で構成されるものである。

5月15日号の市報及びホームページで公募市民の委員を募集する。対象は、市内在住・在勤で、平成26年5月15日現在18

歳以上の方。期間としては、協力依頼の日から（仮称）小金井おいしい給食委員会が設置されるまでの間である。申込書は学務課、市内小中学校、図書館、公民館で配布するほか、市ホームページからもダウンロードできるようになっている。報酬については、報酬の支給はない。

応募方法については6月13日金曜日までに直接郵送またはファクスで、申込書と小論文800字以内、課題については「小金井市の学校給食に求められる課題」についてを学務課へ提出していただくものである。

選考は、庁内で設けた選考委員会で、論文による審査・選考を行い、第1次審査通過者について面接による選考を行うものである。

今後のスケジュールとしては、第1回準備会は7月中旬ごろの開催を目指している。準備会の検討内容にもよるが、平成26年度末には（仮称）小金井おいしい給食委員会を立ち上げ、27年度から活動や取り組みを開始したいと考えているものである。

以上である。

鮎川委員長 何かご質問、ご意見等あるか。では、福元委員、お願いする。

福元委員長
職務代理者 小金井はずっと、学校給食については非常に皆さん関心を持って見守ってきた経緯がある。そういう経緯の中で、公募市民が3名、保護者が2名と、非常に多くの、学校の栄養士や調理員以外の声を聞くような形でこの会を設置していただくというのは、保護者に与える安心感というのは非常に多いと思う。ぜひこれがうまくいくように願っている。感想である。

山本教育長 先週の日曜日にテレビで、都内の区部のどこかの自治体の給食の取り組みを紹介していたけれども、そこでは単独方式だけれども、学校によって非常に味に差があって、残菜がすごく出る学校と出ない学校があって、その辺が大きな課題だったんだけど、こういう委員会をつくってさまざまな改善の取り組みをした結果、それが改善されたと区長さんが誇らしげに語っていた。

そういう大きな課題めいたもの、こういう委員会をつくって解決しなければならないというものは、本市にはあるか。

河田学務
課長補佐

小金井市も各学校で単独でそれぞれ給食を実施しているので、学校による差というのは多少はあるかもわからない。

ただ、今まではそれを、いいことであれ、よくないことであれ、そういう差というのがあまりわからないというか、そのような状況もあったので、ぜひ市全体として給食を考える中で、よいところはどんどんアピールをしてレベルアップをしていただき、もし劣るところがあれば、ボトムアップしていくというところについても、おいしい給食委員会などの設置によってそういうことができればいいかと考えている。

山本教育長

私が一中の校長のときに、地場野菜というか、地元の野菜を取り入れるということが話題になっていたけども、なかなか円滑にそれを取り入れるにはハードルが幾つかあって難しいなんていう話も聞いたけども、今、各学校で現状はどうなっているか。

河田学務
課長補佐

地場野菜については、小金井でも農家さんに協力していただいて給食に使用しているところであるが、やはり需要と供給のバランスとか、幾つか課題があり、なかなか数字としてはたくさん使っていないという状況はある。

今回、この準備会に関しても、委員としては先ほど申し上げた9名のメンバーだが、実際に市内の農業関係者の方とか商業の関係の方、食育の関係の方とか、関係の方にもアドバイザーとして入っていただき、そういう部分についてもぜひアドバイスやご協力をお願いしたいと考えている。

以上である。

鮎川委員長

岡村委員、何かアレルギー等の観点からご意見あったら、願います。

岡村委員

調布で事件があったから、いろいろ医師会とかでもすごく熱心に話し合っている。アレルギー対応に関して個人個人の、こちらにも「アレルギー対応の実施は、学校と保護者、児童・生徒が安心できるよう医師による診断をもとに学校長が決定します」と書いてあるけれど、これにはアレルギー疾患の指導表というのが必要なので、それはもう医師としてはアレルギー疾患の指導表をどんどん

一般化していこうという動きが今ある。それには食物アレルギーのことや、こういうものを除いてほしいとかが書いてある。

というのは、わりと今までの中で、ほかの県の広島とかで調査したら、「卵食べられません」と言ってずっと食べていなくて除去していたけれども、特に卵のアレルギーはなかったとか、思わぬものがアレルギーだったとか、いろいろ検査したり医師の意見を聞いたりして、何となくムードで「これが食べられない」と言う人たちに精力を入れてしまうとほんとうのアレルギーの人に対して濃いケアができないので、そういうことではっきりと医師の診断が必要であるというので、全国でアレルギー疾患の指導表がつくられるようになった。今、小金井でもどんどん持っている子供が増えてきているので、医師会とも協力して、進めるようよろしくお願ひしたいと思っている。よろしくお願ひする。

鮎川委員長 ほかによろしいか。

渡邊委員 給食というのはやはり、1日の3分の1はそれで生活するわけで、特に成長期の中学生とか、体に対する因果関係が非常に強いと思うけれども、給食をだんだん普及するに当たって、年代が違うので一概に言えないと思うけど、成長とのバランスを見るようなデータはおとりになっているのか。

河田学務
課長補佐 給食については、文科省の学校給食実施基準というのがあって、エネルギーやいろいろな栄養素の基準値などが決まっている。小金井市もこれに基いて、栄養士が栄養量などを計算している。

栄養士会の中では、小金井市の児童・生徒の状況が全国のこのような基準と比べてどうかということについては研究中であり、まだ結果としては出ていないが、そのようなことも含めて検討していきたいと思う。

鮎川委員長 ほかにご質問等あるか。

福元委員や山本教育長の学校長としてのご経験から給食の重要性などについて、質問やご意見があった。昨年度の保護者向けの説明会でも、保護者の方や市民の方からも沢山のご意見が出て、関心が高いことと思う。ぜひ組織設置に向けた準備会について推進して

いただけるようによろしく願います。

では、続いて、3、平成27年度市立小学校使用教科用図書の採択について、願います。

平田指導主事 平成27年度市立小学校使用教科書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条第6号に基づき教育委員会が採択することとなっている。教科書採択にかかわる法令及び要綱等に従って、平成27年度小学校使用教科用図書採択の調査研究及び事務手続を進めてまいる。

具体的には、報告事項資料をごらんいただきたい。小金井市教育委員会に、採択に必要な資料を得るために、各学校の報告書をもとに教科書選定調査委員会及び教科ごとに教科書調査研究委員会を設け、調査研究及び資料作成をしていただく。そのほか、主な事務日程等については、資料を参考にしてほしい。

報告は以上である。

鮎川委員長 それでは、委員の皆様、何かご質問、ご意見等あるか。福元委員、願います。

福元委員長 2点ほど願います。

職務代理者 1つは、先ほど説明の中で、23条6号の教委が採択することになっているということで説明があったけれども、実際に各学校の先生方のお力をかりたり、またそれ以外の力をかりたりいろいろしているわけけれども、まず第1番目に学校での検討というのが1つあると思うが、学校で検討するときに、その辺の部分、36号の点について、やや明確でなかったりして困難を生じた地区があった。小金井市においては、そういうことはまずないかどうかということが1点。

それからもう1点は、学校だけではなくて、市民というか、特に保護者もやっぱり、実際にはいっぱい関心を持っている。だからそういう保護者の関心を持っている気持ちをどう採択の中で生かす部分があるのかどうか、その2点についてお聞かせ願いたい。

平田指導主事 まず、学校の中での調査研究において混乱が起きるかかどうかという質問が1点目にあったかと思う。

教科書の採択方針については、文科省及び東京都教育委員会から方針が出ている。大きくは2つの観点において調査研究をすることとなっている。1つ目は内容について、2つ目は構成上の工夫についてである。この2つの観点を各学校の全教員が研究して、資料を作成して報告するようになっている。

各学校の上げた資料をその後、各教科ごとの調査研究委員長が取りまとめて、また選定調査委員長が最終的な報告を受けて教育委員会に提出するという手順を踏んで行ってまいる。

2点目の、市民の関心があるということで、それについてどのように反映していくかといった質問だったかと思う。

まず、教科書選定調査委員会の中には、保護者の代表として3名入ることになっている。小金井市においては、PTA連合会の推薦をいただいて、3名の方が調査委員会に入って、直接ご意見をいただくようになっている。

それ以外に、教科書の展示を行っている。教科書展示するところにはアンケートボックスを置いて、その中に市民の方が意見を入れることができるようになっている。

以上である。

鮎川委員長 教科書展示の場所と時間をお願いします。

平田指導主事 教科書展示においては、まず小金井市においては、場所が東小学校内にある小金井市教職員研修センターで行う。日程については、6月2日から7月4日まで行う予定である。

小金井市以外の場所だと、教科書センターというのが東京都にあって、小金井市の地区だと三鷹市が教科書センターになっているので、そちらのほうで教科書を閲覧することが可能になっている。

以上である。

福元委員長
職務代理者 先ほどの説明でおおよそわかったのだけれども、学校のかかわり方で、各学校で検討して部会をつくってというような従来の流れとほとんど同じなのか、それとも何か違うところがあるのか、その辺をもう一回確認させてほしい。

平田指導主事 各学校の従来の流れについて、今回の変更点はあるかといった

質問かと思う。4年前に小学校の教科書採択を行っているが、今回、各学校の従来の流れについて大きく変更したところはない。

以上である。

福元委員長
職務代理者 わかった。

鮎川委員長 では、ほかに。岡村委員、お願いします。

岡村委員 教育委員はどのようにかかわるのか。

平田指導主事 教育委員がどのように教科書採択にかかわっていくかということについてであるが、小金井の子供たちにふさわしい、また公正・公平な教科書採択を行っていただきたいと考えている。教科書見本本を直接研究していただきながら、学習指導要領の趣旨に沿った教科書を採択していただきたいと考えている。

以上である。

鮎川委員長 では、ほかに。渡邊委員、お願いします。

渡邊委員 その見本本というのは何冊ぐらいいただけるのか。

平田指導主事 教科書の見本本がおよそ何冊かというところだが、ただいま送られてきたばかりで確認しているところである。9教科あって、各教科5社から、多いところだと7社、8社とあるので、およそその掛け算の数があると思う。また、詳しい冊数は後日お答えしたいと思う。以上である。

鮎川委員長 ほかにご質問等あるか。よろしいか。

では、今年の夏、教科書採択ということで、私たちも一生懸命勉強していきたいと思う。多分、段ボール何箱かの、何十冊の教科書に囲まれる夏だと思って、心して勉強していく。よろしくお願いします。

では、報告事項4、小学校オーケストラ鑑賞教室について、お願いします。

- 丸山指導主事 小学校オーケストラ鑑賞教室について、口頭でご報告する。
- 本年度は4月25日金曜日、午後2時から3時10分まで、武蔵野市民文化会館大ホールで小学校オーケストラ鑑賞教室が開催された。
- この鑑賞教室には、小学校第6学年の児童が参加し、日本ニューフィルハーモニック管弦楽団のオーケストラを鑑賞することができた。エルガー作曲の「威風堂々」やチャイコフスキー作曲の「白鳥の湖」などの演奏を鑑賞した。
- プログラムの中には、児童が指揮者体験を行ったり、オーケストラの伴奏にのっての全員合唱があったりと、児童が主体的に参加する工夫もあった。
- 安全対策については、各学校にホールの避難ルート図を示し、非常時の対応についての周知徹底を行った。
- 鑑賞中の児童は鑑賞態度もよく、オーケストラの奏でる音色に引きつけられ、時にはリズムにのったりと、静かな中にも楽しんで聞いていた。
- 小学校オーケストラ鑑賞教室では、格調高い本物の生演奏を聞くという貴重な経験を通じて、児童の音楽を愛する心情や豊かな情操を育むことができたと考えている。また、音楽鑑賞をする上での態度や大ホールという公共の場での過ごし方などのマナーについても学ぶことができた。
- 以上で報告を終わる。
- 鮎川委員長 委員の皆様、何かご質問等あるか。では教育長、お願いします。
- 山本教育長 集まった児童数は全部で何人だったか。
- 丸山指導主事 小学校第6学年の児童が825名いるけれども、そこから当日の欠席の児童がいるので、詳しい数については、これからまた調べておきたいと思う。
- 鮎川委員長 教育長、お願いします。
- 山本教育長 私が言いたかったのは、せっかく交流センターができたのだから、

例えば2つに分けて、あの会場に入るぐらいにして2回演奏なんていうことをやると、相当予算が高つくのか。どうせならそういう方向に持っていきたいよね。700人だったか、交流センターの収容人員は。

西田生涯
学習部長

いや、570人台。

山本教育長

570か。全員入らないね、やっぱり。わかった。

鮎川委員長

せっかく市内にすばらしい施設があるので、活用できるといいね。ほかに何かご質問あるか。

では、続いて報告事項5、中学校合唱鑑賞教室について、お願いする。

平田指導主事

中学校合唱鑑賞教室について報告する。

本年度は5月8日木曜日、午後2時から午後3時30分まで、武蔵野市民文化会館大ホールで合唱鑑賞教室が開催された。この合唱鑑賞教室には、中学校2年の生徒807名が集まり、二期会合唱団による滝廉太郎作曲の「花」やオペラミュージカルの名曲「カルメン」の合唱を鑑賞することができた。

また、「夢の世界を」という曲の全員合唱では、二期会合唱団が客席通路、2階席通路まで並び、生徒とともに合唱した。中学生らしいすがすがしい声の重なりがホールに響き渡った。

鑑賞中の生徒は、鑑賞態度はとてもよく、合唱団の歌声に聞き入る様子が印象的だった。

今回の中学校合唱鑑賞教室は、二期会合唱団の歌声を間近に聞くという貴重な経験を通じて、オペラ歌手への憧れや、音楽を愛する心情や豊かな情操を育むことができたと考える。また、鑑賞態度や公共の場でのマナーについての指導も行き届いていた。

報告は以上である。

鮎川委員長

何かご質問等あるか。

では、続いて報告事項6、文化財センター企画展について、お願いする。

石原生涯
学習課長

それでは、3月29日から5月6日まで開催された文化財センターの企画展についてご報告させていただく。

開催の場所については、浴恩館公園内にある小金井市文化財センターである。今回の展示については「絵はがきに見る東京の桜・小金井の桜展」と題して、江戸時代から花見の名所として知られた玉川上水の桜をはじめとする東京各所の桜を明治から昭和前期までの240点の絵はがきで紹介したものとさせていただいた。

期間中の来館者数は444人が合計である。ちなみに、参考までに昨年の桜に関する企画展では499名の参加があったが、展示の方法が違うなどのこともあるので、昨年と同様に多くの方に拝観していただいたと考えている。

以上である。

鮎川委員長

何かご質問等はあるか。

では、続いて報告事項7、ウォーキングフェスタ東京について、お願いする。

石原生涯
学習課長

それでは、5月3日及び4日に都立小金井公園を出発地点として開催させていただいた第19回ウォーキングフェスタ東京ツーデーマーチについてご報告させていただく。

この場をおかりして、当日ご参加いただいた教育委員の方にもお礼を申し上げます。どうもありがとうございます。

今年の大会の特徴としては、去年は同じツーデーマーチでも2日間、各1日ごとに北と南の両コースの開催をしていたところ、今回については体制側の負担なども考えて、3日については南側を中心とするサクラコース1コース、4日については北側を中心とするハナミズキコース1コースという形での開催となった。こういったコースの変更もあったので、参加者数は8,363人だったけれども、各コースごとに出発前には多くの方が行列で出発を待つという風景も見られ、また両日とも好天に恵まれたので有意義な1日として参加者に過ごしていただいたものと考えている。

市内の市立学校の中学生のボランティアについては、60名の方にご参加いただいて、両日とも参加していただいた延べ人数としては73名の方にご協力をいただいた。

報告は以上である。

鮎川委員長

何かご質問等あるか。福元委員、お願いします。

福元委員長
職務代理者

当日の中学生の子供たちの参加の仕方というのが、非常に主体的で、自分たちも楽しみながら、一生懸命、参加者に声をかけて、にこにこしながらやっていた。とても好印象というか、いいなと感じた。これについては、何らかの指導があったんだろうとは思いますが、どんな指導をしてこういう子供たちの活動につながったのか、その辺を聞かせていただければと思う。

石原生涯
学習課長

中学生のボランティアの指導については、5月3日と4日、1日ずつ社団法人日本ウオーキング協会の指導員の方が中学生のボランティア担当として、中学生のボランティアの指導をしていただいた。その中では、個別的にこういう仕事をということについては、参加者の方を元気づける見送りをお願いするであるとか、スタート時のスタンプ押しをお願いするといった基本的なお仕事についての指導をしたけれども、大人数の中学生なので、そういったスタンプを持つという役割を与えられた者以外については、単純に声援というところにとどまるどころがあるけれども、それでも自分たちの与えられた役割を精いっぱい過ごそうと個々の中学生が考えていただいて、例えばゴール地点で、疲れている方をねぎらうために、記念写真とかは参加者同士が撮るのではなくて、進んでみずから中学生が「記念写真をお撮りしましょう」とお声がけを、誰から指導されたわけでもなくやったというお話も聞いているので、そこは中学生の皆さんが場に応じて、みずから進んでそういった活動をしていただいたと考えている。

福元委員長
職務代理者

小金井に対する印象を、参加者にとっても好印象を与えたと思う。ぜひ、全部の中学生じゃないけれども、学校を通してでよいので、その子供たちによくやったということを一言言っていただけるとありがたいかなという気持ちでいる。

鮎川委員長

私からも一言申し上げます。

連休中にもかかわらず、生涯学習部長、課長、そして指導室長、指導主事の先生方、皆様ご足労いただいたことに感謝する。

福元委員からもお話があった中学生ボランティアは、毎年、参加者の方からも、声援にとても元気づけられた、明るく「行ってらっしゃい」とか「お疲れさまでした」と中学生から声をかけてもらえた等とてもよい評判であった。これからも続けていただきたいと思う。

私も参加させていただいて気づいたことだが、先ほど課長のご説明の中で、今年は開催方法が変わって、例えば3日の場合はサクラコース限定だった。何年か前までに戻ったかと思う。今年は出発の方法、誘導の方が時間差で区切られて、以前のように混雑して歩道をふさいでしまうとか、信号待ちで周りの方にご迷惑をかけるということがとても少なくなったと思う。時間差でも参加者の方を待たせ過ぎることもなく、運営のほうスムーズでいらしてすばらしかったと思う。

あとは、ウォーキング協会の方から、ぜひ教育の場で「歩育」を取り入れてほしいというお話もいただいた。学校教育においても、生涯学習においても、歩くことで育っていくというお話を伺ったので、この場でご報告させていただく。

山本教育長

私も挨拶ということで行かせてもらったけども、ざっと見渡したところ、非常に平均年齢が高いような気がした。

それで、年ごとに参加者が減っているということはないか。

石原生涯
学習課長

確かに最盛期、スリーデーマーチのときには5万人を超える参加者であった時代もあって、今年は初めて参加者が1万人を切ったというところはあるけれども、体制側と街の中の混雑といったところから見ると、運営するのに規模に合った大会にはなったと思う。確かに5万人参加していたときは、親子連れとかお孫さんを連れた参加者もかなりお見かけしたけれども、やはり同じところで開催を続けているせいか、ほんとうにウォーキングをきわめたいという方の参加にだんだん収束していっているという感はお指摘のとおりかと思う。

山本教育長 せっかく野川のようなすばらしいコースがあるので、小学生や中学生とか、若い人たちが積極的に参加したくなるような企画の工夫とか、今後考えていったらどうかと思う。

西田生涯
学習部長 その件に関しては、こちらはジャパンマーチングリーグと
いって、非常に格の高い大会の18大会だったかのうちの1つとな
っていて、それを制覇するという方が非常に主になっているとい
うのが否めない。そこにファミリーコースなどの工夫を入れて、気軽
に家族の方を参加させるということをウオーキング協会のほうで
も今、いろいろ試行錯誤しているところではあって、これからもウ
オーキング協会さん、いろんなどころでのウオーキング大会の実績、
ジャパンマーチングリーグという大きなものではないウオーキン
グもあるので、そういうノウハウも生かしていただくように市のほ
うとしても働きかけをしていきたいと思っている。

鮎川委員長 ほかにご質問等ないか。
では続いて、報告事項8、小金井チャレンジデー2014につい
て、願います。

石原生涯
学習課長 それでは、チャレンジデーについてご説明させていただく。
チャレンジデーと申すのは、日本全国で5月の最終水曜日、今年
は5月28日が当該の日となるけれども、その日に15分以上継続
して体を動かした方の数を、同じような規模の自治体間で競争をし
て、参加率の低かったほうの市が高かったほうの市の旗を庁舎のメ
ーンホールに1週間掲げるといったルールづけのある大会である。
日本全国で開催されていると申しても、全ての自治体でくまなく開
催されているということではなく、年々参加自治体数は増えている
が、今年の参加は120自治体ほどと聞いている。

小金井市において、5月28日のチャレンジデーを成功させるた
めに、市内の各国立、都立、私立、それから市立学校の校長会など
にも実行委員さんになっていただくようお願いをさせていただ
いて、教育委員会からも教育委員長と教育長に実行委員をお願い
している。そのほか、スポーツや商工関係団体、医師会、歯科医師
会、福祉団体や市内の官公署などにも実行委員の就任をお願い

して、5月28日のチャレンジデー当日に多くの市内にいらっしゃる方に体を動かしていただいて、健康増進のためのスポーツの取り組みを、今年だけに限らず今後も継続してやっていきたいと考えている。

報告は以上である。

鮎川委員長 何かご質問等あるか。渡邊委員、お願いします。

渡邊委員 運動といってもいろんな運動があると思うが、例えば職場でできるような体操といったものでもよろしいのか。

石原生涯
学習課長 必ずしもスポーツの形を厳密にとらなくても、リズム遊びや踊り、ウォーキング、サイクリング、体を負担のない形で動かすことを皆さん身近にやっていただくというのが趣旨なので、ご自分のできるような体の動かし方をしていただければ結構である。

鮎川委員長 ほかにご質問等あるか。
念のため確認だが、小金井市内にいる、住所が小金井市内の方が運動したら人数に含まれるということで、小金井市民の方が小金井市の外で運動をしても人数にカウントされるということでよいのか。

石原生涯
学習課長 前段の小金井市民以外の方が小金井市の中で運動した分というのはカウントされるので、そういったところもあって、私立の学校さんなどにも参加の呼びかけを行っている。

小金井市民が小金井市外で運動した運動時間というのは含まれないので、そういう意味では昼間人口というか、お昼の人口が多いような大きな工場があるとか、そういった自治体のほうが有利ということでは言われている。

鮎川委員長 岡村委員、お願いします。

岡村委員 連絡の受け付けは午後9時半だが、回収ボックスも9時半なのか。

石原生涯
学習課長

回収ボックスも、駅前などの人の集まる場所には設置するけれども、そこに人をつけて回収に行かなければならないので、9時まで回収するための人がつけられるかというところは、ちょっとお約束ができないので、必ず9時までできる場所として、連絡先の0800から始まる電話とかファクスがあって、これがフリーダイヤル的な電話・ファクスなので、こちらで裏面の連絡用紙というのにご家族でとか職場でという形でファクシミリで流していただいたり、電話の受付センターのほうにご連絡いただくという形で集計していくつもりである。

鮎川委員長

ほかによろしいか。

では、対戦相手は強敵ということだけでも、ぜひ小金井市を挙げて頑張っていきたいと思う。よろしく願います。

続いて報告事項9、貫井北センターの開設について、願います。

前島公民館長

貫井北センターを開設し1カ月が経過したことから、貫井北センターの現状等を簡単にご報告させていただく。

初めに、公民館貫井北分館についてである。

4月10日には貫井北分館において初めての主催事業、健康づくり講座を開催し、55人の方が受講された。参加者の感想としても、「わかりやすい講座だった」「椅子が座りやすく、長い講座でも楽しく聞けた」「また参加したい」など、好評だった。

また、4月16日から一般貸し出しを始め、4月20日からは公共施設予約システムでの7月分の予約を開始した。自由内覧期間が終わり、一般貸し出しを始めた4月16日の朝は、6月分までの先着予約のため行列もできていた。

企画実行委員の募集や公共施設予約システムでの利用が7月からということで、本格的な市民の利用ということではこれからということになるが、フリースペースの利用者も多く、穏やかなスタートを切ることができたと思っている。

23年ぶりに新設された地域センターであることや、市民の憩いの場として、また生涯学習の拠点として、市民協働による運営を実施していくこととしており、公民館としても活発な生涯学習の場となるようバックアップに努めさせていただく。

上石図書館長

続いて、図書館貫井北分室について報告させていただく。

開館初日は4月1日の式典後、正午から午後7時まで開館し、4月2日以降は通常開館の午前9時から午後7時まで開館した。

開館初日、4月1日の来館者はおおよそ500人と、おかげさまで盛況だった。ほかの分室に比べ閲覧スペースを多く設けているので、本を借りに来る方はもとより、閲覧する方も多く見受けられた。

4月1カ月の新規利用者登録者数として、1,000名近い方にご登録いただき、そのうち約65%の方が北西地域の方となっている。また、登録者数の約25%が小学生以下のお子様である。このことから、今まで近くに図書館がなかったことで利用されていなかった方や、小さなお子様がいる方や小学生等で今まで図書館が遠く利用できなかった方などが図書館を使い始めてくれたものと考えている。

また、4月5日の午後1時から、貫井北分室初めてのイベント、「ホオズキを育てよう」を開催し、好評だった。さらに5月10日の午前10時半からは、お話し室を利用したお話し会が始まり、貸し出し、返却等のカウンター業務のほかにも各種行事などを随時行う予定となっている。

図書館としても、図書館行政の活性化のために支援させていただきたいと思っている。

以上、報告である。

鮎川委員長

何かご質問等あるか。よろしいか。

それでは、報告事項10、その他。学校教育部からほかに報告事項があれば、ご報告願います。

関庶務課長

学校教育部庶務課から報告させていただく。

第一小学校校庭、松の木、通称ナポレオンの松の木と呼ばれている木の倒木の危険に伴う応急処置について報告させていただく。

第一小学校校庭南側にある松の木だが、明治45年ころに当時の校長先生がセントヘレナ島から持ってきたものを分けてもらい、今の場所に植えたとの言い伝えから、セントヘレナの松とも言われ、また昔、教師がこの木の下でナポレオンの偉大さを児童に語って聞かせたことから、ナポレオンの松とも言われているが、第一小学校の象徴とも言うべき由緒あるものである。

植えてから100年以上経過し、かなり老朽化したところであるが、先週の5月9日金曜日、午後3時ごろ、学校から松の木が強風で倒れそうとの連絡を受け、庶務課施設系の職員が現場に急行し、造園業者にも急遽来てもらい、松の枝を少し剪定し、風による影響を低減させる処置を行った。

さらに、南側に倒れそうだったので、造園業者のトラックを松の北側に駐車しロープで松を引っ張ることで、倒れることの防止処置をとった。翌10日の土曜日には、直径5センチの鉄パイプを組んで、やぐらのような形で仮押さえの処置をとった。

申し上げたとおり、すぐに倒れることがないような応急的な処置はとったが、この処置でも緊急的な応急処置にすぎず、次の処置について対応をとらなければならない状況である。

かなりの年数を経過している松の木なので、幹の内部の腐食が激しく、延命化の処置をとるのはかなり厳しい状況かと思っている。児童への安全面を最優先と考え、また松の状態をあわせ考えると、伐採していくこともやむなしなのかと考えるところであるが、冒頭申し上げたとおり、由緒ある松の木であるので、関係者等に一定周知を図るなど、限られた時間の中ではあるが、できる限り丁寧に対応していきたいと思っている。

庶務課から報告は以上である。

鮎川委員長 何かご質問等あるか。福元委員、思い出深い一小について、何かお気持ち等はあるか。

福元委員長
職務代理者 もう80代、90代の市民の方の多くが一小を卒業されていて、その方々とお話しするときに必ずこの木のことが出てくる。だから、心の中に非常に深く残っている松だということで、子どもの安全が最優先だけども、そういう卒業生たちの気持ちも酌めるような、伐採するにしてもそういう配慮が何かできれば、過去に多少かかわった者としては大変うれしく思う。

山本教育長 今の福元先生のご意見と同じだが、何かしら周りで見守ってお別れするというセレモニーみたいなものもやったらどうかと私も思った。

関庶務課長 今の委員の方々のお話のとおり、小金井は一小しかなかった時代があつて、そのころからあつた木ということで、かなり皆さん思い出深い木というのはあるかと思う。

ただ、倒木、安全面を考えると、それほど猶予もないということもあり、ただ、片方でそういった感情的な部分もあるので、今、学校長、先生とも相談しながら、木を切るにしても一定、どこまでできるかというのものもあるが、思い出に残るといふ形では考えていきたいと思つている。

以上である。

鮎川委員長 それでは、学校教育部からほかにあるか。

天野学校
教育部長 以上である。

鮎川委員長 生涯学習部から、ほかには報告事項があればお願いします。

西田生涯
学習部長 ない。

鮎川委員長 その他として、教育委員からも情報発信をすべきではないかという思いもあつて、時間にも限りがあるが、私からお願いだ。福元委員長職務代理者、就任されてから1カ月余りの間にたくさんの活動をしていただいたことと思うが、何かお気づきの点、ご意見等あつたらお願いします。

福元委員長
職務代理者 私自身がまだなれないということで、小金井市にどれだけ役に立てているのかという点は非常に不安に思つている。ただ、これからもっと事務局とも私自身が連絡を取り合いながら、小金井の子どもたちのために何ができるのか、その辺を考えていきたいと思つている。ぜひ事務局の方とも連絡を取り合いたいので、よろしくお願いします。

鮎川委員長 よろしくお願いします。
岡村先生、何かあつたらお願いします。

岡村委員 なかなかないことだが、私は今、東京都医師会の学校保健委員をやっている、学校保健委員の中で中野区とかいろんな区の教育委員の先生方もいらして、いろいろお話を聞いて、やはり医師の目からとして教育委員に参加する価値があるだろうと、そちらのほうも医師の目を通して教育委員会にぜひ参加していこうと思っている。なれないことばかりだが、よろしく願います。

鮎川委員長 では、今後の日程について、ご報告願います。

中島庶務課 それでは、教育委員会の今後の日程について報告する。

庶務係長 平成26年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会（長野大会）になる。こちら、5月16日金曜日、午後1時から午後4時20分という予定で、長野県長野市ホクト文化ホールで開催される。全委員の出席を願います。

 続いて、東京都市町村教育委員会連合会第58回定期総会が5月22日木曜日、午後2時から東京自治会館講堂で行われる。全委員のご出席を願います。

 続いて、第6回教育委員会定例会、5月27日火曜日、午後1時半から801会議室で開かれる。全委員のご出席を願います。

 続いて、第7回教育委員会定例会、7月8日火曜日、午後1時30分から、同じ801会議室で開かれる。全委員のご出席を願います。

 続いて、第8回教育委員会定例会、7月22日火曜日、午後1時半から開催される。場所は同じ801会議室になる。こちらも全委員のご出席を願います。

 続いて、第9回教育委員会定例会、8月26日火曜日、午後1時30分から、同じ801会議室で開かれる。全委員のご出席を願います。

 続いて、東京都市町村教育委員会連合会第2回理事会、第1回理事研修会になる。8月28日木曜日、午後2時から東京自治会館大会議室で行われる。全委員のご出席を願います。

 向こう3カ月の今後の日程については以上になる。よろしく願います。

関庶務課長 補足する。今後の日程で、第8回教育委員会定例会である。7月22日火曜日、1時半はいつもどおりであるが、場所が801会議室と資料にはあるが、801ではなくて商工会館2階の大会議室を予定しているところである。

以上である。

鮎川委員長 以上で報告事項を終了する。

次に日程第3及び日程第4の2件を順次議題とするところだが、いずれの案件も人事に関する案件であり、委員長は本案は小金井市教育委員会会議規則第10条第1項に規定する事件に相当するため、非公開の会議が相当と判断するが、委員の皆様、異議はないか。

(委員一同異議なしの声)

鮎川委員長 では、全員異議なしと認め、秘密会を開会する。

準備のため、休憩とする。

傍聴人の方におかれては、席を外していただくことになるので、よろしく願います。

休憩 午後2時33分

再開 午後2時40分

鮎川委員長 再開する。以上で本日の日程は全て終了した。これをもって、平成26年第5回教育委員会定例会を閉会する。

閉会 午後2時40分